

都市再生整備計画 事後評価シート
江島・白子地区

平成23年3月

三重県鈴鹿市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県	市町村名	鈴鹿市	地区名	江島・白子地区		面積	170 ha
交付期間	平成18年度 ~ 平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	507 百万円	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
		基幹事業	道路(白子本町205号線道路改良事業)、下水道(白江公共下水道事業)					
		提案事業	地域創造支援事業(白子漁港環境整備事業、白子漁港水産振興事業)					
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
		基幹事業	-			-		-
提案事業	-			-		-		
新たに追加した事業	基幹事業	-			-		-	
	提案事業	地域創造支援事業(白江公共下水道事業)事業活用調査(事業効果分析調査)			汚水基本設計結果を踏まえ、区画整理事業区域外から流入する汚水を地域創造支援事業に位置づけを見直し(下水道から事業項目を変更し、本事業項目に追加) 事業実施による効果を多角的に分析し、今後のまちづくりのフォローアップにつなげるため、追加		白江公共下水道事業:下水道普及率の指標に関連するが、数値目標は据え置く。 事業効果分析調査:影響なし	
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		
	変更	-						

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	下水道普及率	%	76	H16	77	H22		80	○	ありなし	土地区画整理事業と公共下水道事業を一体的に実施したことにより、事業の円滑化が図られ、下水道の普及が促進した。	平成23年6月
指標2	漁業後継者人数	人	24	H16	24	H22		20	×	ありなし ●	景気の低迷による影響が大きく、漁業後継者の歯止めにはいたらなかった。	平成23年6月
指標3	イベント参加延べ人数	人/年	20	H16	200	H22		230	○	ありなし	安全な漁港環境の確保に加え、白子漁港水産振興事業での稚魚の放流イベントの実施が漁業に身近にふれあえる機会となり、参加者が増加した。	平成23年6月
指標4										ありなし		
指標5										ありなし		

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	建築着工件数	件	1	H18				65			土地区画整理事業と公共下水道事業を一体的に実施したことにより、良質な住環境の確保が図られ、人口定着が進んだ。	平成23年6月
その他の数値指標2	イベント参加者アンケートによる漁業関心度	%	-	-				81			白子漁港水産振興事業での稚魚の放流イベント実施が、魚の育成過程や育成環境について知る機会となり、漁業への関心が高まった。	-
その他の数値指標3												

4) 定性的な効果発現状況
 白子漁港観光整備事業や白子漁港水産振興事業を行ったことでこのような稚魚放流見学会を開催できるようになり、小学生の社会見学の対象となった。稚魚放流見学会では、ガザミ等の育成過程が間近で見られ、参加者から漁業や漁協に関心を示す意見が多く得られた。また、将来漁業関係の仕事をやってみたいという意見もあり、将来の漁業の担い手へのPRにもなったと考えられる。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング				
住民参加プロセス	白江区画整理組合におけるまちづくり活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	今後も組合のまちづくり活動に参加し、技術的な支援を継続する。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載はなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	漁協と小学校の連携体制構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	漁協と各種団体との連携を強化し、水産振興に取り組む。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載はなかった		

様式2-2 地区の概要

江島・白子地区(三重県鈴鹿市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：地域の自然環境に配慮したまちづくり ○下水道(汚水・雨水)を整備して環境を改善する。 ○漁港周辺を整備して漁業環境を改善する。	下水道普及率	単位：%	76	H16	77	H22	80	H22
	漁業後継者人数	単位：人	24	H16	24	H22	20	H22
	イベント参加延べ人数	単位：人/年	20	H16	200	H22	230	H22
	建築着工件数	単位：件	1	H18	—	—	65	H22
	イベント参加者アンケートによる漁業関心度	単位：%	—	—	—	—	81	H22

道路「白子本町205号線道路改良事業」

道路事業により、漁港へのアクセス道路の改善が図られた。



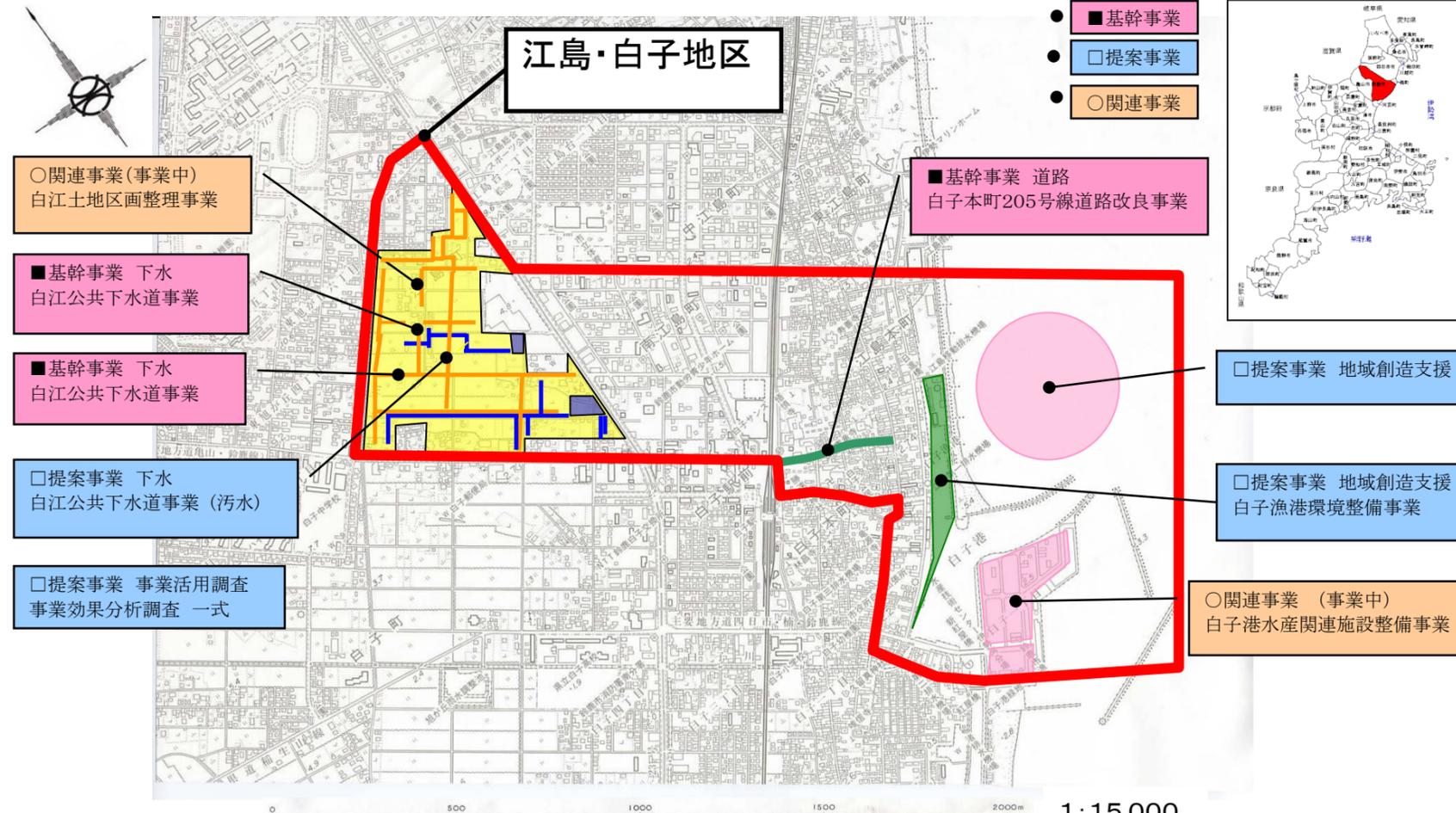
整備前 → 整備後

下水道「白江公共下水道事業(汚水・雨水)」

下水道事業により、土地区画整理事業と一体的な都市基盤整備が図られた。



整備前 → 整備後



地域創造支援事業「白子漁港水産振興事業」

稚魚の放流イベントを実施。魚の生産・育成とともに、小学校の社会見学の機会となった。



地域創造支援事業「白子漁港環境整備事業」

白子漁港のヘドロの浚渫により、漁船の航行



まちの課題の変化

- ・公共下水道の整備が進み、良質な住環境が形成され、地区内における人口定着が進んだ。今後も人口定着のさらなる促進が必要である。
- ・ヘドロの浚渫、海水の冷凍使用、ノリ養殖の集荷場整備などにより、安全な漁業作業や品質の高い水産物の生産基盤が整備された。今後も漁港環境のさらなる充実が必要である。
- ・稚魚の放流イベントの実施により、魚の生産・育成とともに、将来の漁業の担い手に向けたPRが図られた。今後も漁業環境のさらなる充実を図るとともに、漁業後継者確保に向け、漁業関係者と連携した漁業経営基盤の強化が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・区画整理地区内の未整備箇所の整備を進め、施行期間内での事業の完了を図る。
- ・安全な漁業操業ができるよう、漁港、漁港海岸の保全整備を図る。
- ・低コストで漁港施設の機能維持ができるよう、定期的な点検・補修を行う。
- ・魚の生産・育成に向けた種苗放流の促進を図る。
- ・漁獲安定に向けた魚の資源管理を引き続き徹底する。
- ・漁業関係者や森林関係者と連携して、漁場環境悪化の防止に努める。
- ・水産業活性化の拠点施設として水産物直販所の活用促進を図る。
- ・漁業関係者への意見聴取をしながら、漁業者が安定感をもって漁業に着業できるような環境づくりを行う。